

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳
 コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中森俊雄
 (氏名) 庄瀬元洋

TEL 03-3759-1491

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,550	△6.2	235	△22.9	251	△18.0	163	△2.7
24年12月期第3四半期	1,652	△22.0	305	△29.3	306	△30.4	167	△33.8

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 199百万円 (23.5%) 24年12月期第3四半期 161百万円 (△34.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	21.56	21.54
24年12月期第3四半期	21.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,687	3,295	88.9
24年12月期	3,524	3,161	89.3

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,278百万円 24年12月期 3,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	4.00	—	3.50	7.50
25年12月期	—	3.50	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	4.50	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,181	2.9	346	△6.2	363	△4.4	231	26.6	30.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	8,285,000 株	24年12月期	8,285,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	744,953 株	24年12月期	625,160 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	7,571,159 株	24年12月期3Q	7,706,476 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州における財政問題による需要の低迷、中国をはじめ新興国の景気減速等の影響もありましたが、金融政策による円高の是正及び株価上昇が進み、また経済政策への期待感から、民間設備投資にも明るさが見え、緩やかながらも回復基調にありました。

当業界におきましては、円高の是正の影響から輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界に業績の回復が見られ、当社グループの主要顧客業種である半導体製造装置業界においても、一部、設備投資需要に、上向きの兆しが見られますが、パソコン、液晶テレビなどのデジタル電子・電気機器の低迷により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、販売面では、日本を含むアジアを一つのマーケットとしてとらえ、情報の共有を図り、新興国市場のニーズに応えた製品シリーズの市場投入と販売体制を強化し拡販を押し進めてまいりました。

また、生産面では、「地産地消」の考え方にに基づき海外子会社での生産比率を高めること等によって、コストダウン及び供給力強化による顧客サービス向上に引き続き取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,550,401千円（前年同期比93.8%）、連結経常利益は251,054千円（前年同期比82.0%）、連結四半期純利益は163,251千円（前年同期比97.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

パソコン、液晶テレビなどのデジタル電子・電気機器の低迷、一部、国内生産への回帰は見られますが、各種製造業の海外生産移管などにより、売上高は1,153,131千円（前年同期比87.4%）となりました。営業利益については174,514千円（前年同期比69.1%）となりました。

② 韓国

昨年来のウォン高の影響による半導体関連業種に需要の低迷がありましたが、販売体制の強化と現地生産比率の向上及び円安の影響により、売上高は206,599千円（前年同期比118.6%）となりました。営業利益については31,614千円（前年同期比110.3%）となりました。

③ 中国

成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、販売体制の強化及び円安の影響により売上高は130,603千円（前年同期比125.4%）となりました。営業利益については34,040千円（前年同期比167.2%）となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を押し進めてまいりました。この結果、売上高は60,066千円（前年同期比109.6%）となりました。営業利益については1,363千円（前年同期比75.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ54,677千円減少し、1,407,555千円となりました。これは主として、現金及び預金が80,802千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が108,430千円、製品が37,144千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ217,614千円増加し、2,280,067千円となりました。これは主

として建物及び構築物が144,438千円、投資その他の資産の長期預金が137,105千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ162,936千円増加し、3,687,623千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ32,664千円増加し、250,835千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が14,193千円、賞与引当金が44,486千円が増加したのに対し、流動負債その他が36,051千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,173千円減少し、141,010千円となりました。これは固定負債その他が1,966千円増加したのに対し、退職給付引当金が6,139千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ 28,491千円増加し、391,846千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ134,444千円増加し、3,295,776千円となりました。これは主として利益剰余金が122,711千円、為替換算調整勘定が30,820千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は88.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年8月1日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	519,118	599,920
受取手形及び売掛金	558,091	449,661
製品	167,878	130,734
仕掛品	81,471	86,390
原材料	79,553	61,986
繰延税金資産	25,483	43,021
その他	31,040	36,134
貸倒引当金	△404	△293
流動資産合計	1,462,233	1,407,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,177,599	1,322,038
減価償却累計額	△468,005	△497,286
建物及び構築物 (純額)	709,594	824,751
機械装置及び運搬具	723,566	730,473
減価償却累計額	△494,280	△530,952
機械装置及び運搬具 (純額)	229,286	199,520
土地	735,434	736,159
その他	432,359	466,353
減価償却累計額	△383,552	△402,596
その他 (純額)	48,806	63,757
有形固定資産合計	1,723,120	1,824,188
無形固定資産	132,506	108,784
投資その他の資産		
投資有価証券	137,516	153,184
繰延税金資産	12,970	6,607
長期預金	—	137,105
その他	56,338	50,196
投資その他の資産合計	206,825	347,094
固定資産合計	2,062,453	2,280,067
資産合計	3,524,686	3,687,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,204	44,398
未払法人税等	44,195	45,514
賞与引当金	21,834	66,321
役員賞与引当金	—	8,717
その他	121,935	85,884
流動負債合計	218,170	250,835
固定負債		
退職給付引当金	118,055	111,915
その他	27,127	29,094
固定負債合計	145,183	141,010
負債合計	363,354	391,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,590,369	1,713,081
自己株式	△131,019	△160,597
株主資本合計	3,153,241	3,246,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,679	19,324
為替換算調整勘定	△17,927	12,892
その他の包括利益累計額合計	△4,247	32,217
新株予約権	12,338	13,873
少数株主持分	—	3,310
純資産合計	3,161,331	3,295,776
負債純資産合計	3,524,686	3,687,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,652,319	1,550,401
売上原価	759,288	730,683
売上総利益	893,030	819,717
販売費及び一般管理費	587,913	584,365
営業利益	305,117	235,352
営業外収益		
受取利息	470	2,514
受取配当金	2,704	2,829
為替差益	1,313	9,740
受取地代家賃	4,001	4,004
受取保険金	231	—
その他	773	1,321
営業外収益合計	9,494	20,410
営業外費用		
支払利息	2,162	—
売上割引	146	164
機械設備等移設費	4,773	—
減価償却費	891	3,885
その他	343	658
営業外費用合計	8,317	4,708
経常利益	306,295	251,054
特別利益		
固定資産売却益	1,012	796
投資有価証券売却益	—	5,046
新株予約権戻入益	—	274
特別利益合計	1,012	6,116
特別損失		
固定資産売却損	6,023	—
固定資産除却損	162	363
投資有価証券売却損	—	100
建物建替損失	34,745	—
特別損失合計	40,931	464
税金等調整前四半期純利益	266,375	256,706
法人税、住民税及び事業税	123,199	107,723
法人税等調整額	△24,688	△14,268
法人税等合計	98,511	93,454
少数株主損益調整前四半期純利益	167,864	163,251
四半期純利益	167,864	163,251

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167,864	163,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,421	5,644
為替換算調整勘定	2,307	30,820
その他の包括利益合計	△6,114	36,465
四半期包括利益	161,750	199,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,750	199,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,319,114	174,220	104,188	1,597,523	54,796	1,652,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	187,878	72,890	8,163	268,931	—	268,931
計	1,506,992	247,111	112,351	1,866,455	54,796	1,921,251
セグメント利益	252,422	28,650	20,356	301,429	1,804	303,234

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	301,429
「その他」の区分の利益	1,804
セグメント間取引消去	1,883
四半期連結損益計算書の営業利益	305,117

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、建替え予定となった建物について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を特別損失の建物建替損失に含めて計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては27,545千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,153,131	206,599	130,603	1,490,335	60,066	1,550,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	167,110	59,522	5,452	232,086	—	232,086
計	1,320,242	266,122	136,056	1,722,421	60,066	1,782,487
セグメント利益	174,514	31,614	34,040	240,168	1,363	241,532

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	240,168
「その他」の区分の利益	1,363
セグメント間取引消去	△6,179
四半期連結損益計算書の営業利益	235,352

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。